



講演会一事前申込制

モシルンチカハ

島にいる海鳥たち

2017.II.12 | sun. | 13:00-16:30 | 高校生以上 | 80名

東京都葛西臨海水族園 | 本館2階 レクチャールーム



写真：寺沢孝毅

モシルンチカハはアイヌ語で「島にいる鳥」という意味でウミガラスという海鳥のことをいいます。この講演会では、水族園でも飼育しているウミガラスや北海道の天売島などにおとずれる海鳥の魅力と最新の研究、保全の取り組みを紹介します。

モシルンチカハ 島にいる海鳥たち

1 ケイマフリ 愛を奏でる海のカナリア

/ 寺沢孝毅 自然写真家・守りたい生命プロジェクト有限責任事業組合代表

ケイマフリの国内最大の繁殖地である北海道天売島。天売島の概要やそこで繁殖する8種の海鳥を紹介します。なかでも、調査が進んでこなかったケイマフリの美しい求愛行動や様々な繁殖生態を、近年の調査成果として写真や映像を使ってお見せします。

2 海鳥をつかって外洋の汚染を調べる

/ 綿貫豊 北海道大学 水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 資源生物学分野 北極域研究センター教授

私たちが環境中に放出した水銀やプラスチックは、気流や海流により陸から数千キロ離れた外洋域まで運ばれます。海鳥は魚やイカを食べることを通して海洋中の汚染物質を体に取り込み、それらを体にためて繁殖地にもちかえます。海鳥の体の中の物質を調べることで汚染物質をモニタリングする研究についてお話しします。

3 海鳥の楽園 天売島とその保全に向けて

/ 竹中康進 環境省羽幌自然保護官事務所 自然保護官

北海道の天売島には、春から夏に8種約100万羽の海鳥が繁殖のためにやってきます。ウミガラスは50年前には約8000羽生息していましたが、減少をつけ10数羽までになりました。環境省ではウミガラス保護増殖事業をすすめ、2017年には50羽以上のウミガラスが天売島に飛来しています。また、天売島では近年ノラネコが増加し海鳥の繁殖に影響を与えおり、ノラネコ対策を進めています。他にも「海鳥を取りまく自然環境の保全」と「羽幌の地域産業の振興」の両立に向けた取組についても紹介します。

4 水族園で海鳥を観察する

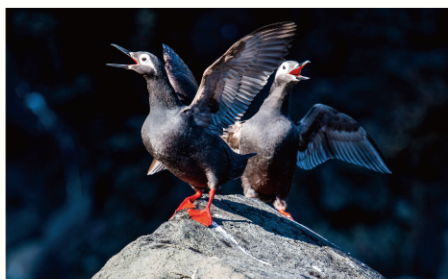
/ 野島大貴 葛西臨海水族園 飼育展示課 飼育展示係

水族園では、季節を問わずペンギンやウミガラスを観察することができます。その中には、採餌や繁殖行動など、野生下で観察するのが難しい行動も含まれます。これらの行動を広く一般に展示するだけでなく、継続した記録として残していけるのも飼育下の特徴です。今回は、飼育下で見られた行動を紹介しながら、水族園から自然を考える取り組みについてお話しします。

写真展

ケイマフリ展 ~北方圏の海鳥たち~
2017.11.9 | thu. | - 12.5 | tue. |

講演会の演者の一人である寺沢孝毅氏の写真展を
本館ギフトショップ前に開催！



【開園時間】9:30 - 17:00 (入園は16:00まで)

【休園日】毎週水曜日(祝日や都民の日に当たるときは翌日)

【入園料】一般700円/65歳以上350円/中学生250円 ※小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料

【お問合せ】東京都江戸川区臨海町6-2-3 / 03-3869-5152